

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部品・附属品

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方 当社は、緑豊かな東広島市に立地している。この恵まれた地球環境を始めとした地球環境を、より健全な状態で次世代に引き継ぐことが企業の責任と考え、「環境」を経営の重点課題の一つと位置付ける。
また、事業活動並びに製品に関するあらゆる面での環境汚染の防止に努めると共に、地球環境の保全に配慮した継続的改善を進めて行きます。

2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和7(2025)年度
二酸化炭素	15,035	13,831

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和7 (2025) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

1,000個あたり

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量(kg等)、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 7 (2025) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	15,035	7,771	1.935	12.0	13,831	8,124	1.703
非エネルギー起源CO ₂				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス				0.0			
総排出量	15,035	7,771	1.935	12.0	13,831	8,124	1.703
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	対前年比1%CO ₂ (原単位あたり)削減を元に、H25年を基準に令和7年度の目標値を設定する。原単位の 見込み数量は、弊社のLTBP(long-term business plan Ver.20240614)の資料に基づく。また、CO ₂ 排出見込 み量は、過去の生産個数と排出量の関係から想定した。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気の使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	電気の使用量を対前年比 原単位1%削減	高効率、省エネタイプの設備への切替 LED化の推進
2	ガス使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	ガス使用量を対前年比 原単位1%削減	素材保持炉のリジェネバーナー化への取組
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	100%再生可能エネルギー由来の電力量の購入	R7年度のCO2削減効果は、R6年度（約370t-CO2）の2倍以上となる見込み
2		
3		

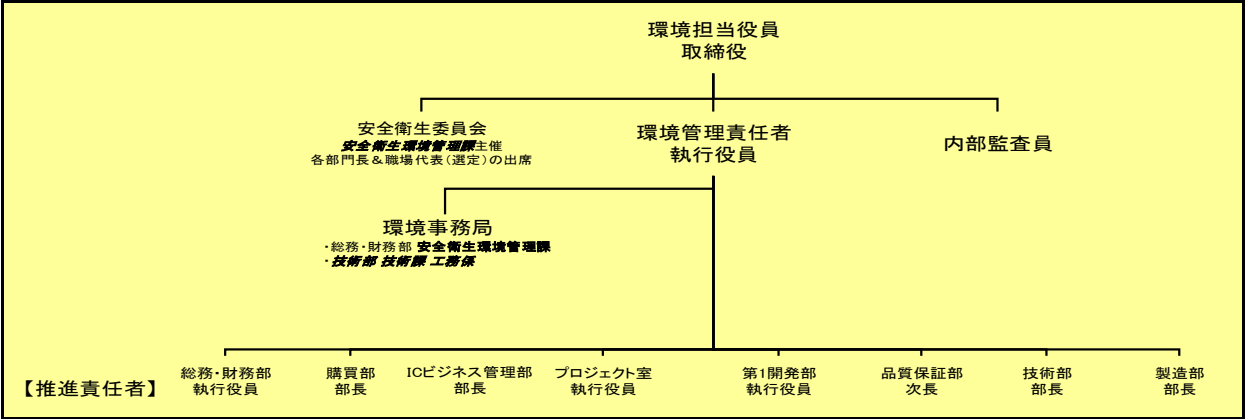
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	製品の軽量化	客先要求100%達成	各プロジェクトの製品の実現化
2	産業廃棄物削減	対前年比、原単位1%削減	分別収集及び資源化の徹底
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

安全衛生環境管理課を中心として、毎年環境マネジメントプログラムを作成し、温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、安全衛生環境委員会において定期的に評価・見直しを行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

社内各職場にて、環境マネジメントプログラムを掲示する。
社外への公表に関しては、広島県による公表を活用させていただく。

事業所位置図

